

皆さんこんにちは。下妻一高に入学してわずか三日目ですが、どんな感想を持っているでしょうか。期待通りだと思った人。期待以上だという人。ちょっとがっかりだなという人。人によって感想は様々だと思います。入学式の式辞の中でも述べましたが、ここにいる全員の生徒に、卒業するときに満足感や充実感を持って卒業してほしいというのが私の願いです。

私が子供の頃に見たマンガの世界、言い換えれば空想の世界にしかなかったものが今は現実の物となって私たちの世界にあります。携帯電話や自動運転のクルマ、ドローンなどはその一例です。当時は想像の世界にしか無かったモノが現実となっています。人の想像力（創造力）がいかに優れているか、力を持つかを示しています。人の思いとはそれほど力を持つのだと思います。今日は皆さんにそのことを伝えたいのです。

これからの三年間がどうなるかは、皆さんを取り巻く環境とそこで生活する皆さんの行動によって決まっていくように思います。この本はジェームズアレン作「原因と結果の法則」です。この本によれば、人が行動を起こすときには、何かしらの「思い」を持ち、その思いに基づいた行動をします。それが後に結果となって現れるということです。それは当たり前のことですが、大抵の場合、人はその当たり前のことに気づくのは結果が出てからなのです。できることならよい結果を出すためによい原因を作っておきたいものです。

「よい」思いをもつと良い結果に繋がるし、「わるい」思いを持てば「悪い」結果になるとすれば、マイナスの思考ばかり積み重ねていると行動も消極的で否定的になるということです。逆にプラスの思考を繰り返すことで前向きな行動をとれるようになり、豊かで実りのある高校生活が送れるのではないかと思います。高校生活のスタートラインに立った皆さんには是非「よい」おもいをもつことを心がけて欲しいと思います。